



梅園百花画譜(梅園草木花譜)4帖のうち夏部1 紫陽花

毛利梅園は江戸時代後期の本草学者。本作は梅園が手掛けた図譜の中でも最も大規模なもので、「春」4帖、「夏」6帖、「秋」4帖、「冬」1帖に分けられている。



JAPAN SEARCH  
BETA

<https://jpsearch.go.jp/>

# ジャパンサーチ 発進!

## ～連携拡大に向けて

2019年2月、ジャパンサーチ\*試験版が公開されました。連携を希望される機関の関係者や、関心をお寄せくださる方々に向けて、ジャパンサーチ試験版の連携促進のための説明会を開催します。ジャパンサーチ試験版の機能、連携方法等の説明に加えて、利活用事例の報告、参加者からの質問も交えたパネルディスカッションを行います。

\*ジャパンサーチとは、さまざまな分野のデジタルアーカイブが連携して、我が国が保有する多様なコンテンツのメタデータをまとめて検索できる「国の分野横断統合ポータル」です。デジタルアーカイブジャパン推進委員会・実務者検討委員会の方針のもと、さまざまな分野の機関との連携・協力により、国立国会図書館がシステムを運用しています。

2019  
**7.17 (水)**  
14:00~17:00 (13:30 開場)

※休館日。図書館サービスはご利用いただけません。

参加無料

定員  
300名 | 60名  
東京 | 関西

**会場** 国立国会図書館東京本館 新館講堂

〒100-8924 千代田区永田町1-10-1  
東京メトロ永田町駅 2番出口徒歩5分

**国立国会図書館関西館 第一研修室**

〒619-0287 相楽郡精華町精華台8-1-3

※TV会議中継により、東京本館での説明会の様子を関西館でご覧いただけます。関西館側からも質疑をお受けします。

**対象** ジャパンサーチとの連携を希望する機関の方  
ジャパンサーチに関心をお持ちの方 (所属不問)

**主催** 国立国会図書館、内閣府知的財産戦略推進事務局

**開会挨拶** 内閣府知的財産戦略推進事務局次長 森 孝之

### ■ 第 I 部 ジャパンサーチ (試験版) について

**報告** ジャパンサーチ(試験版)の機能と連携方法について

国立国会図書館電子情報部副部長 木藤淳子

**報告** 連携事例報告

国立公文書館総務課総括係長/情報システム係長	平野宗明
東京国立博物館学芸企画部博物館情報課情報管理室長	村田良二
国立新美術館主任研究員	室屋泰三
人間文化研究機構総合情報発信センター特任准教授	大内英範
立命館大学衣笠総合研究機構准教授	金子貴昭

**報告** メタデータの利活用事例報告

ゼノン・リミテッド・パートナーズ代表	神崎正英
東京大学情報基盤センターデータ科学研究部門助教	中村 寛

休憩

### ■ 第 II 部 パネルディスカッション

**パネルディスカッション**

デジタルアーカイブを「つなぐ」意義～ジャパンサーチに期待すること

モデレーター	国立情報学研究所教授 高野明彦
パネリスト	村田、室屋、大内、金子、木藤

**閉会挨拶** 国立国会図書館電子情報部長 佐藤毅彦

**申込方法**

国立国会図書館ホームページの専用フォームからお申込みください。  
URL : <https://www.ndl.go.jp/jp/event/events/201907jps.html>

**申込締切**

2019年7月16日(火) 17:00まで (先着順。定員に達し次第締め切ります)

**お問い合わせ**

国立国会図書館電子情報部電子情報企画課連携協力係  
電話 : 03-3506-5239 (直通) E-Mail : [devent@ndl.go.jp](mailto:devent@ndl.go.jp)

